

## HEM-Net シンポジウム

### 「ドクターヘリ運用の多様化—地域医療、周産期・小児医療との連携」

ドクターヘリのサービスを全国どこでも提供できる体制が整いつつある状況に鑑み、ドクターヘリの運用を多様化して、地域医療や周産期・小児医療など、他の医療部門を支援するためにドクターヘリをどのように活用できるかを検討することは、時宜に適したことと思われる。

そこで、「ドクターヘリ運用の多様化—地域医療、周産期・小児医療との連携」と題するシンポジウムを開催する。

日 時 : 2013年9月26日(木曜日) 13:30~17:30  
会 場 : 全国町村議員会館2階会議室

#### シンポジウム次第

総合司会 HEM-Net 理事 益子 邦洋

1. 開会の挨拶 (13:30~13:40) HEM-Net 理事長 篠田 伸夫

2. 基調講演 (13:40~14:40)  
「地域医療、周産期・小児医療におけるドクターヘリの展望」  
宮崎大学理事・医学部附属病院長 池ノ上 克

(休憩: 14:40~14:50)

3. パネルディスカッション (14:50~17:20)  
「ドクターヘリ運用の多様化—地域医療、周産期・小児医療との連携」  
コーディネーター  
東京都立小児総合医療センター 集中治療科部長 清水 直樹  
HEM-Net 理事 益子 邦洋

4. 閉会の挨拶 (17:20~17:30)  
HEM-Net 副理事長 小濱 啓次

## パネルディスカッション参加者

### パネリスト

- ・小児集中治療室（PICU）の立場から  
国立成育医療研究センター病院 手術・集中治療部医長 六車 崇
- ・総合周産期母子医療センターの立場から  
鹿児島市立病院 総合周産期母子医療センター新生児科部長 茨 聡
- ・小児救急集約化を目指すドクターヘリ基地病院の立場から  
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター医局長 八木 貴典
- ・島嶼地域の救急医療、周産期・小児医療を担うドクターヘリ基地病院の立場から  
国立病院機構長崎医療センター 救命救急センター専任医師 増田 幸子
- ・広域医療過疎地域をカバーするドクターヘリ運航の立場から  
旭川医科大学病院 救命救急センター部長 藤田 智
- ・地域医療を担うドクターヘリ基地病院の立場から  
徳島県立中央病院 救命救急センター副センター長 三村 誠二

### コメンテーター

- ・厚生労働省医政局指導課救急・周産期医療等対策室長 田中 剛

(敬称略)

### [会場地図]

